

県連ニュース

2018年 11月号 NO-496



滋賀県勤労者山岳連盟

目 次

寄稿	エッセイ	2
案内	第 56 回 登山祭典 (既報)	3
	『雪山基礎講座』開設のご案内	4
	雪崩事故を防ぐための講習会 (再掲)	5
	全国登山研究集会 案内 (再掲)	7
報告	第 7 回 理事会議事録	9
	第 8 回 理事会議事録	12
	ステップアップ登山講座 1	15
	ステップアップ登山講座 4	19
	第 21 回 全国ハイキング交流集会	22
	近畿ブロック 自然保護委員会	25
	ぐうたら理事長のつぶやき	26
予 定 表		28

表紙の写真 2018/10/06 撮影

八ヶ岳『硫黄岳と赤岳～中岳～阿弥陀岳』

滋賀山友会所属 山森 恵子さん提供

—エッセイ—

「右利き、左利き」

彷徨倶楽部：高田 忠雄

左利きの人を「サウスパー」と言う。もとは、野球で左投手のことをいう。英語の「South paw」を和訳すると「南の手」。ルーツは1880年のシカゴ球場。打者の目を太陽の光から避けるために、打者は東北東に向かって立った。したがって、投手は東から西に向かって立った。つまり、左投手のボールは南側の手から投げられるのだ。これをシカゴ・トレビューの記者が、新聞紙面に「サウスパー」と表現したのが広まった。（スポーツ紙から）

*

「右手が利き腕」という人が多い。同じように「利き足は右足」という人も多い。誰も、無意識のうちに利き腕、利き足を先行して行動している。山歩きなどで、吹雪や濃霧で周りが見えない時におこる「リング・アンド・リング」。一步ごとに、利き足が少しずつ大股になるのだ。結果、大きな円を描いて、ぐるぐると同じ所を回って方向を失ってしまう。当然、利き足が右の人は左回りに、利き足が左の人はその逆になる。（山岳雑誌から）

*

スーパー店内のお客の流れも、これと同じやそうである。多くの客は入り口から壁際に沿って、左回りに回遊しながらショッピングするという。したがって、店側は日々目先を変える意味からも、入り口近くに季節の花や果物、野菜などを置き、続いて鮮魚、牛、豚、鶏など肉類を。レジ近くには冷凍品、ビール、ワインボトルなど重いものをレイアウトしているお店が多いと。大型スーパーでは、左右両方出入口を設けて両回りできようになっているが、右回りのお客でも、そのままレジへ行かず、また左回りするのがけっこう多いとか。店側の商魂である。（パートおばさんの話しから）

*

魚のイワシにも、右利きと左利きがいると。右回りに泳ぐ群れと、その逆に泳ぐ群れと。網の上で焼くと、それが判別できると。右利きは右に、左利きは左に反り返るとか。（釣り名人の友人の話しから）

ほんまかいな！？ ぜび、食卓でチェックを…… —おわり—

第56回 登山祭典

第 56 回滋賀県スポーツ祭典協賛

2018 年 10 月 28 日(日) * 雨天中止

(詳細は 10 月号をご覧ください)

秋の一日みんなと交流してワンデイハイクを楽しみましょう！



三十三間山

主催 滋賀県勤労者山岳連盟

☎520-0836 大津市杉浦町 9-30

TEL: 080-4971-6231

✉ shigarosan@gmail.com

URL: <http://shigarousan.jimdo.com/>

後援 新日本スポーツ連盟 滋賀県連盟

雪山を登ろう！

--- 雪山基礎講座 2019 開講のお知らせ ---

この講座は、経験はないけれど雪山に登ってみたい、あるいは少し経験はあるがもっといろいろな雪山に登ってみたい、そんな人を対象にしています。美しい雪山には危険もいっぱいです。実戦的な技術と知識を学んで安全に雪山を楽しみましょう。この講座の受講を希望する人に求められるものは「雪山への憧れ」です。素晴らしい白銀の世界へ一歩踏み出してみませんか。

■日 程：2018年12月～2019年5月

- ・毎月1～2回の山行を通じて、雪山を楽しみながら必要な知識と基礎的な技術を実践的に学びます。連続して受講して頂くのが理想的ですが、毎回独立した内容なので、都合の良い回のみのお受講も歓迎します。
- ・事前にオリエンテーションを行い、日程の調整と装備の確認を行います。

■会 場：2018年度は荒島岳、恵那山、木曾駒ヶ岳、仙丈ヶ岳および塩見岳で実施しました。2019年度もこれらに準じた山域で実施します。

■講 師：秋田誠（彷徨倶楽部）およびクライミング研究会々員

■主な講習内容：

1. 雪上歩行（キックステップ、アイゼン、ワカン、スノーシュー）
2. ピッケルワーク（ピオレトラクション、耐風姿勢、滑落停止）
3. 雪上ロープワーク（スタンディング・アックスピレー、懸垂下降）
4. その他の雪山技術（テント、雪洞、イグルー、気象、読図、雪崩回避）

■募集人数：8名程度

■受講料：1回2,000円、テキスト代を含みます。申込金は要りません。

■申込み（問合せ）：

090-3727-3721（秋田）

またはメール

dekameno@gmail.com

■申込期限：11月30日（金）



弱層テスト



南アルプス・塩見岳

一般参加
歓迎!

第26回 近畿ブロック

雪崩事故を防ぐための講習会

参加者募集

主催 日本勤労者山岳連盟 近畿協議会

冬山登山・バックカントリースキー・ボード・スノーハイクなど
雪山を楽しむ方に必須の、雪崩の知識と対処法について実践的に学びます

ビーコン講習

日時: 2019年1月19日(土) 10:00~17:00
雨天時は、1月26日(土)

場所: 須磨浦海岸 ※JR須磨駅改札前集合

- 雪崩ビーコン(アバランチランシーバー)の基礎
- エアポートアプローチ等を砂浜で学びます

持ち物: ビーコン、テキスト、筆記用具、雪山用手袋
防寒・防風衣類等

理論講習

日時: 2019年1月20日(日) 9:30~17:30

場所: 大阪府勤労者山岳連盟事務所

一般社団法人大阪宣伝センター 機関紙会館新館内
〒553-0006 大阪市福島区吉野3-2-35
(JR大阪環状線野田駅、地下鉄千日前線玉川駅から徒歩約5分
阪神本線野田駅から徒歩約20分)
※駐車場はございません
お越しになる際は公共交通機関をご利用ください

実技講習 (雪上での本実習。理論講習後受講できます)

日時: 2019年2月23日(土)~2月24日(日)

場所: 長野県・中央アルプス千畳敷カール周辺
(長野県駒ヶ根市 標高2,610m)

※宿泊ホテル 中央アルプス観光 ホテル千畳敷
Tel 0265-83-5201

- 積雪の断面観察
- 積雪の危険度評価
- コンパニオンレスキュー
- 行動判断(中級)等

※貸切バスで移動します

集合 2/22(金)に大阪駅西口(22時)または 京都駅八条口(23時)
2/24(日)に京都と大阪に帰着します

※詳細は受講者に理論講習時に説明します



この雪面は、安定しているか?



パーティが雪崩に遭遇! どう探し、救出する?

参加費 35,000円

理論講習のみ参加の場合は、3,000円

理論講習とビーコン講習のみに参加の場合は5,000円

定員 基本クラス 20名 初めて受講する方
中級クラス 10名 基本クラス修了者
もしくは同等の経験のある方

申込締切 12月26日(水) 各クラス毎に、定員になり次第締め切ります

※ 下記申込受付アドレスへご連絡ください。申込用紙を送信致します
(申込用紙は各県、府連のHPからのダウンロードも可)

※ 参加費の振込み先は、申込み受理後にお知らせします

※ テキストは、入金確認後に送付します

※ 参加費には、テキスト代、実技のホテル宿泊費(1泊2食付)・交通費を含みます

※ 労山基金または一般の山岳保険に加入をお願いします

※ 2月1日(金)以降のキャンセルについては、キャンセル料が発生します

※ 県連申し込みは
遭対部：今村理事まで
090-1951-3126
imaken510@gmail.com

第 17 回全国登山研究集会

in 愛知の開催について

テーマ

誰もが登山できる喜びを広げ、登山文化と労山運動を次世代に継承し発展させよう！

記

- 期 日 2018 年 11 月 23 日(金・祝日)～24 日(土)
- 会 場 愛知県民の森 モリトピア愛知(宿泊施設名) 愛知県新城市
- 参加対象 労山会員および全国の登山者
- 主 催 日本勤労者山岳連盟
- 主 管 全国登山研究集会実行委員会・愛知県勤労者山岳連盟

【23 日】

- 12:30 受付開始
- 13:00 開会あいさつ
- 13:10～ 記念講演「K2からシリアへ」
—8000mのビバークから見てきたもの—

講師:小松 由佳 氏

1982 年秋田県生まれ。2006 年、“世界で最も困難な山” 世界第二の高峰K2(8611m)に日本人女性として初めて登頂。人間の暮らしに惹かれ、草原や沙漠を旅するうちフォトグラファーを志す。2012 年からシリア内戦を取材し、シリア難民の今を伝える活動を行う。

- 14:30～ 休憩
- 14:50～ 基調報告
 - ・集会の意義目的と組織強化拡大・次世代育成について
- 15:50～ 活動報告 連盟及び加盟団体の活動:6団体程度予定
 - ・会クラブの組織強化・次世代育成など優れた実践経験

18:00 第1日目閉会
18:30～ 夕食・交流会 20:30～宿泊施設で各自交流

【24日】

7:00～8:00 朝食
8:30～11:30 分科会
11:30～12:00 全体でまとめ集会・解散

分科会

- 1「労山の組織強化・拡大、次世代育成」
- 2「登山のための筋力維持と強化」
- 3「安全登山」
- 4「若い世代の交流」
- 5「大開発による山岳自然破壊とどのように向き合うか」
—リニア新幹線による南アルプス等の自然破壊の実態等—

参加費用 一泊二食での参加 8,500円
※日帰り参加一日も二日も 500円(資料代)

宿 泊 愛知県民の森 モリトピア愛知

問合せ先 労山全国連盟事務局 TEL 03-3260-6331
FAX 03-3235-4324 E-mail jwaf@jwaf.jp

参加申込締め切り 10月25日(木) 別紙申込書にて全国連盟事務局まで

※ 教育部・遭対部共催 2018年度 第2回初心岩登り教室は
定員の5名になりましたので締め切ります。

2018年度 第7回 理事会議事録

2018.9.13 (木) 19:00~20:30 於県連事務所

出席: 北村、友永、古川、池田、川端、今村、高玉、宮内、濱、中島、東郷 (記録)

欠席: (連絡あり) 秋田、奥野、三崎、番浦 (理事会定数 15名)

下記の議題につき、提案・協議・検討・決定をした。

1.比良縦走コースについて

・日程: 9/30 (日)

・コース 栗原~北比良峠~ダケ道~イン谷(ゴール)

変更点

1 和邇駅 7:03 着の場合、バス便がなくなり、登山口までタクシーを利用してしたが、和邇駅 9:16 発バス利用で栗原バス停 9:26 着 9時30分スタートに変更する

2.会員拡大につながればと、条件つきで一般参加者も募集する方向で進める
県連ニュース 10月号で詳細掲載する。9/14 締め切り

・担当: 遭難対策部 (今村・友永) 教育部 (濱・番浦) 協力→理事全員

・中止の判断: 9/29 (土) 17時滋賀県南部の予報で降水確率 50%以上の場合中止。

実行委員長→各会連絡担当→参加者のルートで連絡 (実施の場合は連絡なし)

・準備: 受付名簿 友永、名札 友永、領収証 友永、地図 (参加者に配布) 携帯 今村、完歩証 今村、県連腕章 各自、チェックポイント&ゴール接待備品(宮内・高玉)

・任務分担

・実行委員長: 友永

・会計: 三崎

・諸注意・コース説明: 今村

・スィーパー (5名) 今村、番浦、濱、東郷、川端

・チェックポイント: 1_北比良峠 (3名、池田、中島、宮内)

2_ゴール (2名、友永、高玉 :)

・完歩証: 昨年作ったものを2018年版にして使用。順位は記載しない→今村

・サブコースの設定なし

・9/20 下見(今村・古川・宮内)の予定 9/28 大会コースに印を付けに行く予定

・参加者が分かれば今村理事へ報告する

・登山時報へ投稿予定

2.登山祭典

・場所: 各会で検討、決定

・日程: 10/28 (日)

- ・担当：組織部（池田・川端）
- ・新日本スポーツ連盟(星さん)→準備不足なので今年は受け持たない
- ・県連ニュース9月号掲載
- ・県連ニュース10月号掲載
- ・ちらし作成→9/14に印刷に回す→1600部
- ・一般参加者の保険料100円を県連に支払う
- ・織山は子ども(小学生)でも大丈夫

3.各部報告

組織:会員数動向（前年度末比:204/214 95.3%）

山友	岳友	雪稜	彷徨	ちごゆり	シャクナゲ
72/73	54/54	45/45	12/12	16/16	5/5
合計		2018.7E/2018.6E			
		204/205			
		99.5%			

組織部

- ・9/5 第4回タスク会議 19:00~20:30 出席 友永・池田・川端・濱・金原
勧誘チラシ案&活用案 ちらし印刷部数→2000部印刷済み、3000部増刷り予定
- 10/23 第5回タスク会議
- ・登山祭典チラシ（2018年版、1600部制作予定）各会へ送付予定（9/20）
- ・2019年労山カレンダー申込(定価800円)→締切り9/29 友永まで部数を連絡

教育部：

- ・地図読み山行
第3回実技 8/19 音羽山周辺 7名参加
- ・第2期ハイキングセミナー 2名申込
10/13 座学 事務所
第1回実技 10/20 音羽山
第2回実技 11/10 音羽山
第3回実技 11/17 音羽山周辺

遭難対策部

- ・9/8 三上山初心岩登り→12月に延期する

自然保護部

- ・10/12 10:00~ 近畿ブロック自然保護委員会
- ・11/3 近畿ブロック自然保護山行→紀泉山脈メガソーラ建設予定地巡り
(JR 阪和線六十谷駅9:30集合 締切り 10/25 (木))

機関紙部 :

- ・県連ニュース 10月号
原稿締切り 9/15 印刷・発送 9/20 18時
- ・10月より宅配便値上げ

救助隊

- ・事務局会議、講習会とも未定

CSS

- ・ステップアップ講座
10月・11月それぞれ1回予定

SKI-NET

- ・12月から始まる

財政部

特になし

4.その他

- ・12/2 金勝アルプストレラン大会について(主催者:近江湖南アルプス TRAILRUNRACE 実行委員会) 意見があれば主催者へ連絡してください
- ・西日本災害募金について全国連盟から依頼あり。 各会で取り組んで下さい
- ・9/15~16 全国ハイキング交流集会静岡県伊豆 長岡温泉→1人希望(雪稜会1名)
- ・若手のためのクライミング講習会 10/13~14 谷川岳一ノ倉周辺 10人
- ・11/23~24 全国登山研究集会 愛知県 参加費 8500円
県連ニュースへ載せる 総額の半分の補助金が出ます
- ・第4回タスク会議報告(池田) 勧誘チラシを新聞赤旗日曜版に無料折込で入れる
(草津市のみ10月中までに)その他 大学生協や登山店に置く予定 各理事は1人20枚
- ・清掃登山は、来月あたりから検討してほしい。総会資料は北村事務局長が作る
- ・比良雪稜会の運営委員会にて、秋田会長が滋賀に在住されていないがそれでよいのかという質問が出た→来期あたりから考えたほうが良いが、人選が難しい
適任と思われる方がいれば連絡してください

■ 次回 第8回理事会 10月11日(木) 19:00 ~

2018年度 第8回理事会議事録

2018.10.11（木）19:00～20:30 於:県連事務所

出席: 北村、友永、高玉、宮内、中島、東郷、今村（記録）

欠席:(連絡あり)秋田、奥野、濱、池田、川端、三崎、古川、番浦、（理事会定数 15 名）

下記の議題につき、提案・協議・検討・決定した。

1. 比良縦走大会(報告)

・台風接近で中止

・来期に向けての反省

コースが短くなったことで、参加者(会員6名)が少なくなったのではないか。

来期は距離を長くする。例えば

①元に戻す(栗原～楊梅の滝入口の東屋)

②JR高島駅～打見山(下山はロープウエーの利用など)

③その他のコースを検討する。

2. 登山祭典

・場所:各会で検討、決定

・日程:10/28(日)

・担当:組織部(池田・川端)

・新日本スポーツ連盟(星さん)→準備不足のため今年は受け持たない。

・県連ニュース10月号掲載

・ちらし作成→1600部印刷、配付

・一般参加者の保険料100円を県連に支払う。

名簿(氏名・生年月日、又は年齢・性別)を10月26日までに友永に提出する。

・織山は子ども(小学生)でも大丈夫である。

・各会から実施報告を提出してもらう。

11月15日締め切り(B5/1枚写真込みの1ページ)

3. 清掃登山

・担当:自然保護部(中島・古川)

スケジュールの確認

3月中旬 自治体(11)その他、協力団体(9)に協力依頼。

岩雪、好日山荘に広告依頼。

下旬 各会コース等決定依頼

4月中旬 自治体首長のメッセージ回答期限

チラシ原稿の作成、印刷発注

下旬 チラシを自治体、関係団体、県連各会に送付

5月上旬 しおり、リーダーの手引きの内容を各会に確認

中旬 しおり、リーダーの手引き原稿作成、印刷、発送

6月上旬 報告文、写真まとめ

中旬 会計報告書作成

自治体、協力団体に報告書送付

4. 各部報告

組織:会員数動向(前年度末比:206/214 96.2%)

山友	岳友	雪稜	彷徨	ちごゆり	シャクナゲ
74/72	5/54	45/45	12/12	16/16	5/5
合計 2018.10E/2018.9E					
206/204		100.9%			

組織部

- ・勧誘チラシ&活用 ちらし印刷部数→2000部印刷済み、3000部増刷り済み
赤旗日曜版に折込み(大津3000部、草津700部)
- ヤマト運輸(株)宅急便センター滋賀全店舗35支店受付カウンター1000部
登山口(イン谷口、伊吹山、金勝桐生)に置くことも検討する。
- ・10/23 第5回タスク会議
- ・登山祭典チラシ(2018年版、1600部制作)各会へ送付済み
- ・2019年 労山カレンダー申込 31部(定価800円)

教育部 :

- ・第2期ハイキングゼミナー 3名申込
座学 10/13 事務所
実技
第1回 10/20 音羽山、第2回 11/10 音羽山、第3回 11/17 音羽山周辺

遭難対策部

- ・12/8 三上山初心者岩登り 4名申込

自然保護部

- ・10/12 10:00～ 近畿ブロック自然保護委員会(中島)
- ・11/3 近畿ブロック自然保護山行
紀泉山脈メガソーラ建設予定地巡り(比良雪稜会 1名)
(JR 阪和線六十谷駅9:30集合) 締め切り 10/22(月)

機関紙部

- ・県連ニュース 11月号
原稿締切り 10/15 、印刷・発送 10/22
- ・理事会議事録は速やか(翌月号)に掲載する。

救助隊

- ・事務局会議、講習会とも未定。

CSS

- ・ステップアップ講座
10月・11月それぞれ1回予定

SKI-NET

- ・12月から始まる

財政部

特になし

5.その他

- ・12/2 金勝アルプストレラン大会について(主催者:近江湖南アルプス TRAILRUNRACE 実行委員会) 意見があれば主催者へ連絡してください。
- ・西日本災害募金について全国連盟から依頼あり。各会で取り組んで下さい。
- ・若手のためのクライミング講習会 10/13～14 谷川岳一ノ倉周辺 10人
- ・11/23～24 全国登山研究集会 愛知県 参加費 8500円(総額の半額補助)
- ・会長人事:来期から考えるが人選が難しい。適任者がいれば連絡ください。
代表者会議(1月)の議題とする。
- ・近畿ブロック会議 10/17 19時～大阪府連事務所(友永)
- ・11/10 八ヶ峰～五波峠～中山谷山トレイルの参加者募集の案内
- ・近畿ブロック雪崩講習会(ビーコン、理論、実技)参加者募集
(県連ニュース 10月号掲載参照) 申込み担当者:県連今村

■ 次回 第9回理事会 11月8日(木)19:00 ～

ステップアップ登山講座 (第 1 回) 報告

八ヶ岳 (赤岳鉱泉～大同心稜～大同心ルンゼ～硫黄岳の周回コース)

【日時】2018年 9月 22(土)～23日 (日)

【天気】晴れ

【講師】秋田 (彷徨倶楽部) 【スタッフ】安斎 (彷徨倶楽部)

【受講生】(湖南岳友会) 森原、川端、高岡 (報告)
(彷徨倶楽部) 乾

【行程】9/22 JR 守山駅東口 (15:00 = 竜王コンビニ(15:30)-竜王 IC=(名神高速 中央道) = 諏訪南 IC JR 中央本線青柳駅 (泊) 秋田講師と合流(21:00)
9/23 青柳駅 = 美濃戸口 (4:45) = 美濃戸山荘(5:00) = 赤岳鉱泉(7:20) = 大同心基部(9:00) = 大同心ルンゼ = 大同心ノ頭(10:00) = 横岳稜線(10:25) = 硫黄岳山荘(10:55、昼食) = 硫黄岳(11:40) = 赤岩ノ頭(12:10) = 赤岳鉱泉(13:10) = 美濃戸山荘(15:10)

【報告】

ステップアップ登山講座が始まり、今年の夏は台風や前線が活発で幾度となく中止。

ようやく初回山行とし、大同心稜 (横岳西面にある岩場のバリエーションルート) が実施に至った。

前日に登山口近くの JR 中央本線青柳駅で講師の秋田さんと合流し仮眠後、4時起きで美濃戸口へ。

美濃戸山荘を経由し北沢コースで赤岳鉱泉へ向かうも、歩き始めは前日の雨で足元が良くないが沢筋は整備された木道で歩きやすい。



赤岳鉱泉が見え始めると、大同心・小同心が目の前に堂々と聳え立っていた。

いざ大同心稜へ！急斜面の樹林帯をひたすら登ること1時間半。木々の間から大同心が目前に現れ感動！。



大同心基部に到着すると、ヘルメットとハーネスを装着し基部の右側をトラバースして大同心ルンゼに向かう。ルンゼは砕ける岩もあったが、核心部 (7m 程の岩壁) はホールドが豊富にあり、フリーで登る事が出来た。

横岳稜線へ向かう途中、大同心ノ頭に立ち寄り、中央アプス・御嶽山などの眺望を楽しんだ。



核心部（7m 程の岩壁）



ルンゼより硫黄岳方面の稜線



赤岳～阿弥陀岳



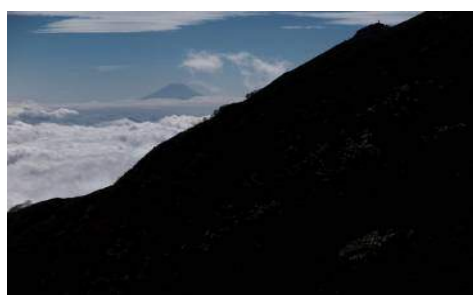
大同心ノ頭にて

横岳稜線に立つと雲海に浮かぶ富士山が見えた。

稜線では、ここち良い秋風が吹き抜け、硫黄岳方面に進むにつれ大同心ノ頭の眺望が変わってゆくのを楽しんだ。



硫黄岳山荘



稜線から富士山が！

硫黄岳に到着すると、右手にすさまじいほどの爆裂火口が！

だだっぴろい山頂では、赤岳～阿弥陀岳の奥に見える南アルプス（仙丈ヶ岳、甲斐駒ヶ岳、北岳など）を堪能した。



阿弥陀岳バックに大同心ノ頭を背中から



硫黄岳に向かうメンバー



今回参加の女性陣



硫黄岳頂上を全員で！



硫黄岳頂上の雲海

硫黄岳頂上を楽しんだあとは、赤岳鉱泉を目指し下山開始。赤岩ノ頭で最後の眺望を楽しむ。1時間で赤岳鉱泉に到着し、大同心を眺めながら至福の時間を過ごした後、テン場から大同心・小同心に最後のお別れ。写真に収めた後は美濃戸口へ。



【一口感想】

■ 山に登るなら9月。一番好きな空の色の季節だ。なんだかそわそわふわふわして、大事なものを忘れてしまいそうで、何度も確認した。案の定、大事なものを忘れてしまった。「カメラ！」「まあこんなもんさ」と（あきらめて）大同心稜の急登をのぼった。

木の根をつかんだり、ルンゼを登ったり、しりもちをついたり。バリエーションは忙しい。

花の季節は終わっていたが充分楽しめた。この次は北八を歩きたい。

乾 久子

■ 小同心を登った時に、お隣の大同心が気にかかってました。

天候不順のため短縮となり、予定の横尾本谷から変更になったため機会が訪れました。

しかし翌朝、安齋さん持参のお酒が効き体調が優れないまま大同心ルンゼに向かいました。緊張感のあるガレ場を登るころは体調も良くなり楽しさ倍増です。安齋さんが先導し、ラストは秋田講師で今日は万全です。ホールドもしっかりあり、それほど緊張感もなく核心部を通過しました。大同心ノ頭は思ったより広く、高度感もあり360°の景観は素晴らしいもの。堪能した後、関東のパーティが懸垂下降するのを恨めしく見ながら硫黄岳へ向かいました。青空に聳える大同心、赤岳、阿弥陀岳が際立ちダイナミックです。

3連休が潰れず、行きたい山の一つが終了し充実した一日でした。

川端 久美子

■何度も中止になり最初に感じた恐怖感は無かった。岩稜帯としては 5 月に行った塩見岳頂上付近をアイゼンで登った時の方が、スリルもあり楽しめた気がする。それとも自分が成長したのだろうか？ だとすると、今度は大同心登頂・懸垂下降に挑戦してみたい。

また、駅舎での酒盛りは美味しゅうございました。

今回の山行実現は、講師の秋田さんや参加の皆さんのお陰と感謝しております。

高岡

■この 1 ヶ月、週末の天候不良が続き山行は全て中止の中、8/23 のみ晴れ予報を狙って大同心稜が実施され、快晴の中、あの大同心の頭に立てました。

良かった点：

- ・大同心ルンゼを緊張しながらも安定して登れたことです。
- ・核心部である 7 m 程の岸壁を安定したホールドと足場があり 3 点支持を取りながら登れました。
- ・いつも横岳とその稜線から眺める「大同心ノ頭」に立つことができ、いつもと違った景色を堪能できました。とりわけ、横岳や阿弥陀岳、硫黄岳は迫力がありました。
- ・美濃戸口まで、車で入れ林道歩行 1 時間を短縮できました。2 台とも SUV の車だったので悪路も車の腹を擦ることなく通行できました。ただしタイヤや車のスカートは泥だらけになりました。

改善点：

- ・落石に配慮した歩き方が必要。大同心稜は、かなり急坂のため「こぶし大の石」に登山靴が触れると簡単に転がって落石になりました。幸い、後続の人に落石が当たることはありませんでした。急坂では前の人と距離を開けずに歩くこと（もし、落石があっても打撃が少なくするため）、転がりそうな石には触れない様にして歩くことが必要です。今回は大同心をクライミングしているパーティが 6 名居り、その登山者の落石にも注意しながら歩くことが必要です。上も足元の登山道も両方を見ながら登ることが必要です。
- ・コースタイム見積もりの精度アップ。ヤマレコを参考に当初 12～14H と見積りました。実績は 10H でした。差異 2～4H の原因は大同心稜と大同心ルンゼの通過時間の見積り違いでした。後で確認すると、ヤマレコでは大同心ルンゼで行き来しており時間をかなり要していることが分かりました。もっと多くの山行記録からコースタイムの見積りをし精度アップしていきたい。

森原

ステップアップ登山講座 4

奥又白池～前穂高岳

其阿弥 道子（比良雪稜会）

日 程 2018年10月6日～8日（月）

天 気 快晴

講 師 秋田 誠、安斎 恭一

受講生（湖南岳友会） 森原 利光
（彷徨倶楽部） 乾 久子
（比良雪稜会） 田中 啓子、其阿弥 道子

行 程

10/6（滋賀組）JR守山駅 18：30＝栗東IC（名神高速・東海北陸道）高山
西IC＝JR高山線上枝駅（泊）21：30
（関東組）須玉 19：00＝須玉IC（中央道・長野道）松本IC＝道の駅
「堀金 21：00

10/7（滋賀組）泊地＝あかんだな駐車場 5：20＝上高地バスセンター5：
55（関東組と合流）
（関東組）泊地 4：20＝沢渡 5：30＝上高地バスセンター6：05（滋
賀組と合流）
合流後 上高地バスセンター6：20---徳沢 8：15～8：35---新村
橋 8：45～8：55---奥又白谷登山口 9：00---中畠新道取付
き 10：05---奥又白池（泊）13：00

10/8 泊地 5：15---（A沢）---踏替点 7：00～7：10---A沢ノコル
8：05～8：15---前穂高岳 9：00～9：35---岳沢小屋
13：15～13：35---上高地バスセンター
16：25、解散後バスであかんだな駐車場に戻り、車を回収し帰滋

台風25号の影響で出発を1日遅らせ、計画も裏剣の仙人池から奥又白池に変更し、風雨の予報にヤキモキしながら出発した。上高地での雨は覚悟していたが、予想に反してすっきりした青空のもと歩き始めることができた。朝早いにもかかわらず上高地は賑わっていたが、新村橋を渡ると急に人が少なくなった。仰ぎ見るような尾根に拓かれた中畠新道を登りきると、目の前に幕営地の奥又白池が広がっていた。



奥又白池



モルゲンロートに輝く前穂高岳

翌日も快晴！ 今回のルートの核心部であるA沢を経て前穂に向かう。歩き始めると夜が明け始め、前穂がモルゲンロートに染め上げられた。振り返ると朝の光を浴びた雲海の彼方に富士山も。景色に見とれた後は緊張の岩場へ。ガレ場の登りでのリーダーの指示は、「落石の危険が大きいガレ場では休憩しない、「前の人と間を詰めて歩く、「岩を押さえるように足を置く、「落石には手を出さないであつた。

一歩一手慎重にルンゼを登り、前穂高山頂を目指した。山頂では大パノラマ。目の前に奥穂高の岩峰が、遠くに槍の穂先も見えた。重太郎新道を下山開始。人気の道だけあって登り降りの方が数珠つなぎになっている。鎖と梯子がどんどん出てくる道をひたすら下った。いつの間にか殺風景な岩稜は紅葉の衣をまとった色彩豊かなった山に変わっていった。やっと着いた岳沢小屋で休憩。帰宅後小屋のブログを見ると、休憩している私たちが写っていた。樹林帯に入り、梓川の川音が聞こえ始めると河童橋に到着した。下山途中で見たヘリコプターは、やはり滑落事故のためであった。同じ山域での事故、無事帰れた安堵と山の危険を改めて実感した。今までの以上に気を引き締めて山に取り組んでいかなければと思った。

（一口感想）

錦秋の奥又白池、素晴らしかったですね。満天を埋め尽くす星々、モルゲンロートに染まる前穂東面、一生に一度見れるかどうかの景観でした。岩が不安定に堆積したルンゼでのルート取りと落石を起こさずに登るコツを実習して頂けたと思います。今後の山行に役立ててください。（秋田）



吹替点を目指して

ステップアップ登山講座に初めて参加させて頂きました。手元足元が全て不安定な急峻なルンゼ登攀でのルートファインディングや、落石を起こさない動作を確認・体得できました。また下界から隔絶され、時間が止まったかのような奥又白の池に癒され、下山路の岳沢では見事紅葉に迎えられ、緊張と癒しの実り多い山行となりました。（安斎）



A沢ノコルへ

モルゲンロートに染まる前穂東面は束の間だった。現実離れた風景に対して、凄いという言葉しか浮かばないうちに、すぐに険悪な表情に戻った。遠目にも厳しそうに見えたが取付きに立って、「ここを攀じる」と頭の中で唱えた。踏替点にたどり着いてもほっとできない。手を伸ばした先の岩角はグラつきポロリと抜け、足元は一步踏み出すとズルッと動く。信頼できそうにない草の根をつかみ、

当てにならない石を押さえつけるようにして、全身で登った。下山途中の上空には遭難救助のヘリが飛んでいた。地図上の破線や地図にも記載されていないルートに登ることに、憧れもあったが、危険なことをしていると改めて思った。(乾)



A沢ノコル(背景は三本槍)

A沢ノコルへの急なザレ場、落石の危険が多く、何処に手を掛けたら良いのか？何処に足を置いたら良いのか？緊張の連続でしたが貴重な体験をしました。快晴の2日間、紅葉も楽しむ充実感いっぱいの山行でした。(田中)

今回の山行はとても印象深い。これまで見たこともない絶景を見、半端ないガレのA沢を登り切ったことは心に残ります。1番の絶景は「前穂高岳のモルゲンロート」です。5:50、A沢を目指し急登していると前方の前穂高岳が急にバラ色に輝き出し「モルゲンロート」になりました。このような朝焼けは見たこともなく感動でした。ガレのA沢では、講師から「前の人との間隔を詰め、猫足で登ること」とアドバイスを受けて挑みました。その意味が良く分かりました。A沢後半は、岩が緩く足を蹴ると軽く落石しました。

落石する石も大きく50mの直方体で前の人との間隔が近いため、「落！！」との声で簡単に避けることができました。間隔が開いた場合、落石のスピードが増し非常に危険であることが容易に想定できます。また、脆そうな岩を手で引っ張るよう持つと簡単に剥がれ、非常に危険であることが分かりました。ガレ場を安全に登るには、足も手も岩を押さえながら猫の様に静かに進むことが重要であると体感しました。2日間とも快晴の中、前穂高岳山頂での360度の展望に加え、重太郎新道では紅葉を十二分に堪能できました。(森原)



紀美子平から奥穂高岳

2018年 第21回 全国ハイキング交流集会報告

比良雪稜会 近藤ひろみ

9月15日 13:00～開会式。

13:30～

地球物理学者、元北大教授の島村秀紀先生の「火山の恵みとその危険性」について記念講演がありました。

まずは火山の成り立ちから。海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込み、地下90～130 km付近で摩擦によりマグマが発生、それが上昇して火山となるそうです。日本は、太平洋プレート、フェリピン海プレート、北米プレート、ユーラシアプレ



ートがせめぎ合い、世界の面積の0.25%しかないのに、世界の陸上にある火山の

1/7 もあり、M6 を超える大地震の22%が起きているという。ちなみに伊豆は火山島で70万～100万年前に日本にくっついたそうですよ！ん～興味深い！また、私たちが習った「活火山・休火山・死火山」はもう使っていないそうです。

2014年の御嶽山の噴火は、犠牲者が多かったにもかかわらず規模としてはとても小さい物で(東京ドーム 1/3~1/2 杯ほど)、各世紀には、250 杯分以上の大噴火が4~6 回起きているそうです。ところが20世紀以降桜島と北海道の駒ヶ岳の噴火のみで、その後100年以上噴火していない…また、カルデラ噴火という放出されるマグマが10万杯という特大の噴火もあるらしい。阿蘇カルデラとさらに大きい屈斜路カルデラが代表的で、これも今はいつ起きてもおかしくない時期に来ている…過去には文明をも滅ぼすものもあったとか。いずれにしろ今までの日本が静かすぎたようで、地震と共にこれから「普通の」状態に戻ると考えられるそうです。

予知については、測定データが少なく方程式が解っていないので難しい。それぞれ前兆などに規則性がないのもその原因のようです。

そんな半面、恩恵にも浴している。風光を愛で、温泉を楽しみ、四季を味わえるのも火山のお陰、国立・国定公園、スキー場、地熱によるハウス栽培、水力発電、軟水と和食、大量の湧水による農業・工業。ほんとお世話になっています。

最後に、私たち日本人は、地震国、火山国に住む覚悟と知恵を持って要るべきだという事で、登山者としては、山行の計画には天気だけでなく、火山・地震情報にも注意が必要ですね。

15:15~17:30

3組に分かれ分散会討論が行われました。

私は、第2分散会に参加、1. ひきつぎ 2. 安全 3. 会運営 について、それぞれの会が発表しました。いくつか印象に残っているのは

- 兵庫、今年マダニの感染症で会員が亡くなった。
800人を擁する名昭山の会は、入会者の教育そしてレベル分けをし、それぞれ楽しんでいる。チラシを配る事に力を入れ、入会者を増やしている。
- 群馬、日本山岳協会・日本山岳会・労山の3団体合同の行事をしていて、若い人が入ってきている。
- 岡山、倉敷ハイキングクラブ 西日本豪雨で4名の方が被災した。ハイキングスクールで入会者が伸びた。リーダー資格者を育てる。
- 静岡 ポスターを作り会員を募る。教育、訓練をする事が組織の意義。
伊豆ハイキングクラブ ترامウシ事故について
高齢のため車を手配するのが大変になっている。
入会後に勉強会があるが、規則が厳しすぎると辞めてしまう。
- 栃木 宇都宮ハイキングクラブはガイドブックを出した。
- 東京 石神井山の会 太平洋へ向かって山を繋げる山行を計画。

※当会は、40周年にあたり「滋賀の40山」や「南アルプス全縦走」という計画があり、魅力ある計画で人を引き付ける山行をする話をしました。

18:30～20:00 夕食交流会。

9月16日 8:30～10:10

分散会の続き。

○高齢者の体力低下に合わせた山歩き。筋トレは重要。

○アミノ酸サプリは、10%アップの効果あり。タイトの効果は小さく3%程度。

○ストックの役割、道を傷めるのでむやみに使わない。



10:15～10:30 閉会式

11:00～

4コースに分かれて交流ハイキング。私は①葛城山 432mに参加。その他は、②城山 ③葦山・歴史ハイク ④ジオハイク—丹那断層に大地の活動の痕跡を見る

11:15 いづみ荘を歩いて出発

11:45 小坂みかん共同農園登山口、みかん畑の横、コンクリ道路に行く。

12:06 見晴らしの良い場所に出た。

曇っているが眼下の長岡の町は見える。

12:30 ロープウェイをくぐり、ここから山道。

13:00 頂上着。観光客がたくさん！昼食。曇りで富士と箱根連山が見ない、残念！！

13:40 集合写真を撮り、違う道を下山。

14:00 ロープウェイの少し西、元の林道に出た。

14:20 登山口着。解散。駿東山の会の方が案内下さいました。

全国連盟、静岡県連の皆様、どうもありがとうございました。

近畿ブロック自然保護委員会報告

2018年10月12日（金）

報告：自然保護部 中島英雄

司会：大阪（沢村）

1. 各府県連報告

京 都：

自然保護委員会は毎月月曜日に開催している。

自然保護セミナー（7/19）「リニア新幹線工事の実態と問題点を探る」講師に竹本 幸造氏（全国連盟理事、リニア問題対策特別委員会事務局長、静岡労山会長）を呼んで開催。

自然観察会（9/8）を八幡市男山にて、講師はNPO自然観察指導員の清水 正氏で開催。

近畿ブロック自然保護交流ハイキングは3名参加予定（平尾）

奈 良：

夏には「ちびっこ遊びたい」を行なった。

11/11自然観察会をみたらい溪谷で計画。

1月にはバードウォッチングを予定。水に溶けるティッシュを作って環境保護を訴えています。（高橋）

兵 庫：

10月の自然保護委員会の議事録から

六甲山でマダニに噛まれて3人が入院、1人が死亡。

「マダニ対策、いまできること」 1・マダニの生息場所

2・マダニから身を守る服装 3・マダニから身を守る方

4・忌避剤の効果

5・国内で入手できる忌避剤の種類と特徴—資料をもらう。（中原）

大 阪：

2018年10月11日の自然保護委員会（レジュメ）より

1・憲章の実践 鳥獣・らいちょう目撃レポート、倒木対策

2・リニア中央新幹線建設による南アルプスの自然を壊さない署名の集計

3・11/3近畿ブロック自然保護交流会 雲山峰の魅力を語られた
4月の山桜は吉野山をも凌ぐ美しさ！大阪で海が見える山です。その地に太陽光発電が！（沢村）

滋 賀:

7月に予定していたクリーンハイク報告を渡す。台風21号による倒木状況を報告。

11/3 近畿ブロック自然保護交流ハイキングは2名参加予定(中島)

和歌山: 欠席

2・近畿ブロック自然保護交流ハイキング

参加予定: 兵庫2、大阪2、京都3、滋賀2、奈良(不明、2人程行きたい) 雨天中止時の連絡: 前日の降水予想が60%以上の時は中止する。

和歌山→沢村さん→各県連自然保護委員→各県連参加者

3・第17回全国登山者研究集会 11月23日～24日 愛知県新城市 参加する分科会: 第5分科会

「大開発による山岳自然破壊とどのように向き合うか」
参加する理由: 今年は自然保護集会の年ですが、どこも引き受ける都道府県連がなく、これに参加することになった(沢村)

※ 次回の自然保護委員会は

2019年1月18日(金) 10時～12時 於: 大阪労山事務所

ぐうたら理事長のつぶやき

先日、以前入会していた山の会の50周年の祝賀会に参加しました。在籍当時にお世話になった方々と懐かしくお話をすることができました。穂高の北尾根で遭難騒ぎに遭遇した事や、祖母山の沢で通過に苦勞したゴルジュや滝の直登で行き詰って釜に飛び込んだ話、冬の大山の槍尾根でビバークした時に、お気に入りのセーターを落としみんなにからかわれた事など、次々と懐かしい思い出話で盛り上がりました。もうすっかり頭も涼しくなった方が多かったですがお元気でした。その頃の山行報告を抜粋します。

大山(槍尾根) 1976年2月8～9日
厳冬期の槍尾根縦走が目標の一つでした。石川、徳澄氏とパーティを組んで完登しました。

2/8

7日夜の「さんべ3号」で出発。バスで大山寺へ向かう。12月と打って変わって別世界のような雪景色となっていた。入山届を出して出発。除雪された車道を榎水まで行く。これからは除雪されていない。装備を着けて出発。文殊堂で休憩。文鳥水の入口より小尾根に入る。雪が多いので文殊尾根に行く。文殊越より鳥越峠へ向う。トレースは鳥越峠に向わず、小尾根を直接登っていた。風が出て来る。登るにつれトレースは消えて来た。冬山はどこでも歩けるからいいな。地図で槍尾根に突き上げる事を確認する。適当な所でツェルトを張る。小雪が降り始め風も強くなった。ツェルトを張る準備をしている時、お気に入りの赤いセーターを落とす。探しに下ったが影も形もない。狭いツェルト内はザックも入り、ますます狭くなった。ブスに火をつけて食事の準備をする。芋粥はやや固めに出来た。シチューも美味かった。他愛のない雑談を止めて眠りに就く。それにしても3人寝ると狭いなあ～。

2/9

ツェルトを撤収して、8時35分出発。昨晚の雪がかなり積もりトレースも消えていた。9時05分槍尾根に出る。かなり細い雪稜に行く。雲が取れ始め、頭上に槍ヶ峰が高く聳えていた。トレースがなく快適な登行が出来た。急な雪面を一直線に登る。遥かに烏ヶ山～蒜山の姿が素晴らしい。急坂を登り詰めて麒麟峠に着いた。道標が埋もれかかっていた。稜線にはかなりの悪場があった。バランスを崩さないように注意して進む。槍ヶ峰のトラバースは、少し下を巻き過ぎて、鞍部に出るのに岩の上に雪の付いた50°ほどの壁を登らされた。ヒヤヒヤものだ。ナイフリッジにはトレースが付けられチョットがっかりした。13時20分天狗ヶ峰に着き、ガッチリと握手を交わす。弥山への縦走は雪がベツタリ付いて快適だった。山頂小屋横には大きな雪洞があった。後は夏道を下る。

12月に延び延びになっている虚空蔵山に行きます。3度目の正直です。

12月15日(土) 9時 藍本駅集合

コースは藍本～虚空蔵山～八王子山～山上山～草野、一部に岩場がある難路です。

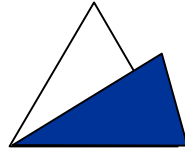
参加していただける方は12月12日(水)までに友永に連絡してください。

電話番号 077-524-5618 メール yt19481013@yahoo.co.jp です。

行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
11			11	3	高島トレイル②	岳友
				3-4	石鎚山	ちご
				3-5	鈴鹿・藤原岳、御池岳、天狗堂	山友
				3-6	九州の山(国見岳・市房山)	彷徨
	8	第9回理事会		4	丹波高地・百里ヶ岳	山友
	9-11	ステップアップ登山講座 (CSS、南ア・黒法師岳)		4	比良水質調査兼放射線測定	雪稜
	10	県連 第2期 地図読み教室 実技②		10,11	鈴鹿・釈迦ヶ岳	山友
				11	大尾山	雪稜
				11	鈴鹿・日本コバ	山友
				17	ミーティング	岳友
				17-18	丈競山(避難小屋泊または日帰り)	彷徨
	17	県連 第2期 地図読み教室 実技③		18	伊吹山地・己高山	山友
				18	伊吹山	岳友
				18	静ヶ岳	雪稜
				18	京都トレイル(銀閣寺・比叡山・坂本)	ちご
	23-24	全国登山研究集会		22	ミーティング	彷徨
		23	伏見稲荷～大文字山～銀閣寺	雪稜		
		24	平家岳	彷徨		
		24	鈴鹿・竜王山～綿向山	山友		
		25	葛川越～烏谷山	雪稜		
12			12	1	望年会	山友
				1	ダイヤモンドトレイル(久留野峠～杉尾峠)	彷徨
	4	雪山基礎講座2019 オリエンテーション、CSS		2	鈴鹿・鍋尻山～高室山	山友
				8-9	ダイトレ縦走(葛城山～岩湧山)	岳友
				8-11	香港の山	彷徨
				9	己高山	岳友
	13	第10回理事会		9	阿星山	雪稜
				15	ミーティング	岳友
				15	箱館山	雪稜
				15	雪稜会忘年会	雪稜
				15	京都・加茂、石仏めぐり	山友
		15-16	ミーティング(忘年山行)	彷徨		
		15-16	総会・希望ヶ丘 忘年登山	ちご		
		16	高御位山(播磨アルプス)	岳友		
22-24	野沢温泉スキー(スキーネット)	22-24	谷川岳(天神平～天神尾根～谷川岳)	岳友		
28-1	妙高ゲレンデスキー(スキーネット)					
1			1	1	比良・権現山	山友
				1	権現山	雪稜
				3	京都・愛宕山	山友
				5	新春登山(武奈ヶ岳)	彷徨
	10	第11回理事会		6	新春登山 愛宕山	岳友
				6	新春登山 愛宕山	ちご
	12-14	妙高スキー(スキーネット)		12-14	北八ヶ岳	岳友
				12-14	比良・八雲ヶ原	岳友
	19	近畿ブロック雪崩講習会(ピーコン講習)		13	武奈ヶ岳	雪稜
	20	近畿ブロック雪崩講習会(理論講習)		17	ミーティング	彷徨
	24	第12回理事会				
				26	ミーティング	岳友
		27	雪山体験教室	山友		
		27	鏡山・雪野山	雪稜		
		27	比良雪見山行 八雲ヶ原	ちご		
31-4	北海道十勝岳スキー(スキーネット)					

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会
 シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部 スキーネット:山スキーネット滋賀
 CSS:クライミング研究会滋賀



原稿の投稿先(12月号は2018年11月15日〆切)
メールアドレス okunoyutaka@yahoo.co.jp まで
原稿は **B5** サイズ、フォント **10.5~12** で、使用する写真は
200KB 以内としてください。皆様のご協力をお願いいたします。

「県連ニュース11月号」 No.496

発行日:2018 年10月22日

滋賀県勤労者山岳連盟

TEL 080-4971-6231

〒520-0836

Email shigarosan@gmail.com

大津市杉浦町 9-30

ゆうちょ銀行 (店名 418)

<http://shigarosan.jimodo.com/>

普通 0239956

発行責任者 友永芳和

編集委員 奥野 豊 高玉 敬子 東郷 京子